東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科
生活支援学専攻 ニュースレター
Human Care and Support Course
Department of Human Care and Support
Facity of Human Life Design
Toyo University

第 08 号｜2013 年 8 月 9 日発行

社会福祉の実践現場に出向き、体験的な学びを深める

教授　是枝喜代治

生活支援学専攻では、8 月初旬から 12 月下旬にかけての 24 日間、120 名近くの 3 年生たちが社会福祉士になるための相談援助実習に出向きます。今回の実習が初めてという学生も多く、期待と不安が入り混じった中での実習となります。実習に向けて、不安を少しでも解消するために、事前指導や演習の時間を利用して、自分たちが実習に行く施設の特徴やそこで実際に行われているサービスの内容、利用する方たちへの接し方などを学んでいきます。1、2 年生で学んだこと、さらに他の幅広い内容について、実際の福祉の現場で体験的に理解を深めていきます。

実習先は埼玉県を中心に、東京都・茨城県・群馬県などの地域で、施設等の種類も児童養護施設、特別養護老人ホーム、障害者支援施設、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどさまざまです。

秋学期からは実習で学んできたことを各クラスで報告し合ったり、そこで学んだ新しい知見や利用者の方たちと接していて感じたことなど、幅広い内容について意見交換を行ったりします。また、年度末には次年度実習を行う予定の 2 年生や実習施設でお世話になった施設の先生方を招いて、実習報告会を開催する予定です。そして、4 年生の演習クラスでは、実習で実際に関わった方たちについての事例をまとめていく予定です。

写真は 7 月に行われた 4 年生の演習クラスの報告会の様子です。各クラスの代表者が、自分たちが関わった事例について報告を行い、活発な意見交換が行われました。4 年間の学びを通した成長が垣間見える報告会でした。これから実習に出向く 3 年生も全員参加し、先輩たちの発表に対して真剣に耳を傾けていました。3 年生の実習はこれからが本番ですが、全ての学生たちが有意義な実習を終えられることを期待しています。